

虹の図鑑 -しくみ、種類、観察方法-

武田 康男/文・写真 緑書房 451.7

雨上がりの空にかかる大きな虹。その美しさと壮大さに、思わずみとれたり、写真を撮りたくなることはありませんか？

この本は、世界各地で撮影された珍しい虹の数々を紹介する写真集。

虹のしくみ「太陽光の反射・屈折現象」を詳しく解説。また、なぜ虹は七色？ どこで見られる？ 虹のたもとはどうなっている？ などの疑問にも答えてくれます。



夏休みの調べ物は、図書館へ

中央図書館 Tel042-564-2454

【月・土・日】午前10時～午後5時

【水・木・金】午前10時～午後7時(2階レファレンス室は午後5時まで)

桜が丘図書館 Tel042-567-2231

午前10時～午後5時

清原図書館 Tel042-564-2944

午前10時～午後5時

図書館の休館日 月(清原のみ)・火・第3木・祝日(土日と重なる場合は開館)

自習室 (試行)

夏休みの期間中、中央図書館2階の会議室を自習室として開放する予定です。日程等の詳細は、市報、館内ポスター、図書館ホームページ等でお知らせします。

図書館ホームページ <https://www.lib.higashiyamato.tokyo.jp>

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となる場合があります。

2021年夏

この本 読んでみない？ 高校生



東大和市立図書館

君と漕ぐ 1 -ながとろ高校カヌー部-

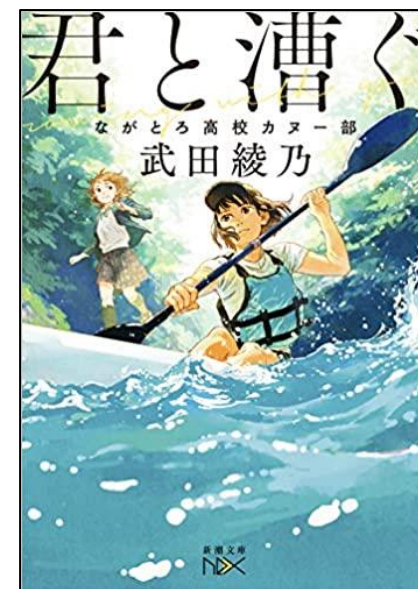
武田 綾乃/著 新潮社 タ913.6

高1の恵梨香^{えりか}は、不登校だった小6の時にカヌーを始め、以来毎日のようにカヌーを漕いでいた。高校入学の前日もカヌーに乗っていたとき、同じ高校に入学する舞奈^{まいな}と出会い、一緒に高校のカヌー部に入部する。

先輩の希衣^{きえ}と千帆^{ちほ}は、小学生の頃からペアを組み、大会でも上位に入っていたが、勝ちにこだわる希衣と純粋に楽しみたい千帆の気持ちはすれ違い始めていた。

千帆は恵梨香の実力を知り、希衣に恵梨香とペアを組むことを提案。希衣と恵梨香の二人は、ライバルひしめくインターハイへの進出をかけて、県予選会に出場する。

第3巻まで出版されています。



オール★アメリカン★ボーイズ

ジェイソン・レノルズ ブレンダン・カイリー/共著 中野 怜奈/訳 偕成社 93

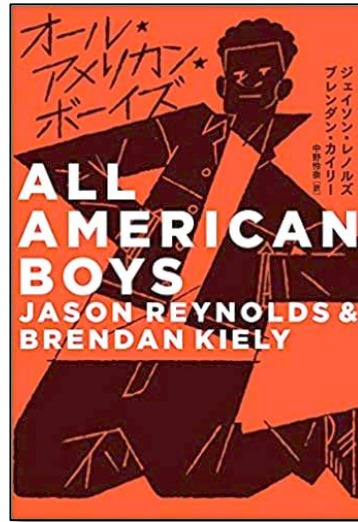
黒人の高校生ラシャドが、白人警官から激しい暴行を受けた。同じ高校に通う白人のクインは、その警官が友人の兄と気づき、現場から逃げる。

事件の動画がテレビやネットで拡散し、高校では抗議デモが計画される。二人はそれぞれの立場で、揺れ動く自分の心を深くみつめ、行動することになる。

黒人作家と白人作家の共作で主人公二人の視点から描く8日間。

黒人はなぜこれほどまでに差別を受けるのか？

アメリカ社会の複雑な今を映し出す物語。



ドーナツの歩道橋

升井 純子/著 ポプラ社 91マ

おぎな 麦菜は、パン屋を営む両親と弟、そして祖母と暮らす高校一年生。自宅兼店舗は、円形の通路にらせん階段がついためずらしい歩道橋の階段のすぐ下。

麦菜は、忙しい母に変わって、認知症の症状が目立つようになった祖母の世話をすることになる。

まだ高校生の自分が都合よくつかわれることに不満を感じ、家族の間もぎくしゃく。心は「好き」「嫌い」を行ったり来たり。まるでドーナツ型の歩道橋を歩くように――。

今問題となっている、「ヤングケアラー」（大人が担うようなケア責任を引き受け、介護をおこなっている18歳未満の子ども）の予備軍とも言える姿を描く小説。



太陽ときみの声

川端 裕人/作 朝日学生新聞社 カ913.6

「お日様のように輝け」――そんな名前の由来通り、高校のサッカー部でもクラスでも中心人物の^{いっき}一輝。ところが、部のキャプテンになった矢先、左目の視力が極端に落ちていることに気づく。

視力障がい。これまで無縁だと思っていた病気に衝撃を受け、自由に歩くこともままなくなる一輝。

そんなとき、目隠して音の出るボールを蹴る不思議なスポーツに出会って、新しい世界へと踏み出す。

***全3部作です。続きもぜひどうぞ。**

「太陽ときみの声 ―明日の、もっと^{さき}未来へ―」

「風に乗って、跳べ ―太陽ときみの声―」



シリアの戦争で、友だちが死んだ

桜木 武史/文 武田 一義/まんが ポプラ社 302.28

トラックドライバーなどで働きながら、戦場ジャーナリストとして世界の紛争地取材している著者。

インドではあごの骨を銃弾で撃ち抜かれ、中東のシリアでは秘密警察の尋問を受ける。

宗教対立。領土紛争。独裁政治による市民への弾圧。生活の場が戦場となり、だれかが撃たれるまで、どの道がスナイパーによって監視されているかわからず、走って道を渡らないと命がない街。シリアで仲良くなった戦闘員や通訳たちの度重なる死…。すぐそばで炸裂する爆弾におののきながら取材した戦場の様子を、ありのままに伝えます。

